

令和元年度決算

財政公表

問 財政課 財政係 ☎75-2118



多久市は、みなさんからの税金やの財政がどのような状況にあるのか詳細をお知らせします。

● 市債の状況 ●

市債とは、多額の資金を必要とする事業を行うときに借り入れる資金のことです。なお、返済の財源として将来的に90億円程度が普通交付税で交付される見込みです。

現在高(一般会計)	132億4,307万円
市民1人当たり	701,100円

● 基金の状況 ●

財政調整基金	4億5,474万円
減債基金	8億8,214万円
その他特定目的基金	66億7,470万円
合計	80億1,158万円

● 市民の負担と経費の状況 ●

区分	みなさんが負担したお金	みなさんのために使われたお金
1人当たり	102,068円	744,277円
1世帯当たり	245,537円	1,790,455円

※上記金額は令和2年3月31日の人口18,889人、世帯数7,852世帯で除した金額です

● 市有財産の状況 ●

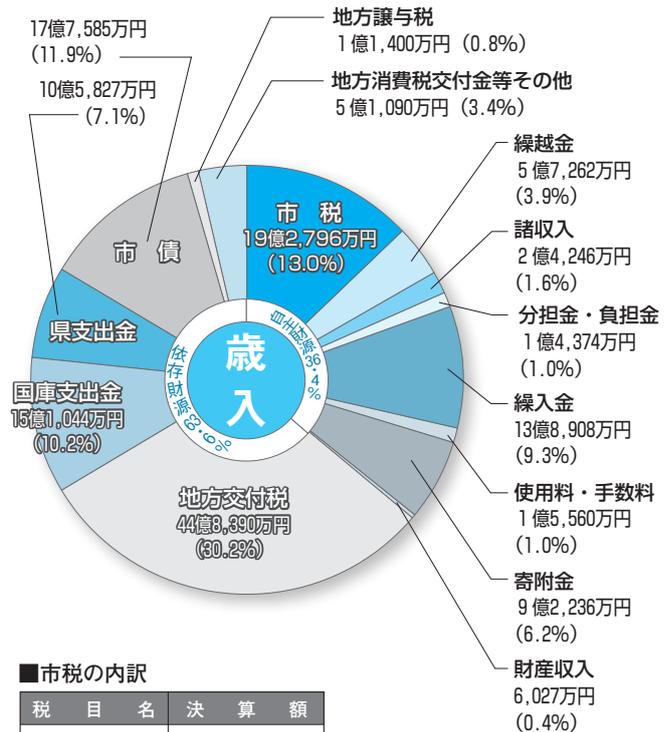
土地 12,276,578㎡ 	建物 132,837㎡
立木 191,197㎡ 	基金 80億1,159万円

一般会計

令和元年度一般会計決算は、歳引額は8億880万円となり、翌年は3億8,474万円の黒字となっています

歳入

市に入ったお金は
148億6,745万円



■市税の内訳

税目名	決算額
市民税	7億7,603万円
固定資産税	9億3,111万円
軽自動車税	7,685万円
市たばこ税	1億3,942万円
入湯税	455万円
計	19億2,796万円



財政健全度を公表します

多久市の
財政状況は
“健全”です



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、地方公共団体は毎年度、「健全化判断比率」と「資金不足比率」を議会に報告し、公表することと定められています。

令和元年度決算に基づき算定した多久市の「健全化判断比率」と「資金不足比率」は表のとおりです。すべての項目で、「早期健全化のための計画の策定」を必要とする国が定めた基準を下回っており、多久市の「財政健全度」は保たれているといえます。しかし、多久市の財政が厳しい状況にあることには変わりなく、これからも引き続き行財政改革の推進に努め、健全な財政運営を進めていきます。